

農産FAX情報 第3号

令和元年6月15日

発行：ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

今年の気候は、5月の干ばつ傾向により、高温・少雨で進んでいます。このような年は病害虫の発生が早まることが予測されますので、初発状況を見逃さず、早めの予防防除に努めてください。

1 共通 病害虫

・アブラムシ類（小麦、馬鈴しょ、豆類）

北海道病害虫防除所より、アブラムシ類の発生期が「早」、発生量は「多」と予想されています。ほ場をよく観察し、発生状況に応じて防除を実施してください。

・ヨトウガ

北海道病害虫防除所より、ヨトウガ発生は、5月が高温に推移したことから、平年より早い発生が予想されています。食害痕を発見次第、準備及び早期防除に努めてください。

2 秋まき小麦

- ・平年より早く出穂期を迎えたほ場が多く、6月上旬には開花期を迎えています。
- ・ムギキモグリバエの発生が見られます。ほ場を確認し初発生を確認したら、防除を実施しましょう。
- ・アブラムシ類は出穂期以降、1穂当たり7～11頭程度寄生するとともに寄生穂率45%以上になると、吸汁害により細麦化し減収につながります。ほ場観察のうえ防除を実施してください。

3 てんさい

- ・土壌中や残渣物に残った菌が感染しやすい時期です。特に連作ほ場、短期輪作ほ場では根腐病の予防防除を必ず実施してください。
- ・薬剤散布時は、株元の地表面までかかるよう、散布水量を多くしましょう。

4 ばれいしょ

6月に入り曇天・低温が続いています。今後の気象経過に留意し予防的防除に努めてください。

< 疫病 > : 平均気温15℃程度の頃に初発期を迎えることが多く、初発後平均気温18℃～20℃の低温多湿条件で蔓延します。

5 豆 類

- ・今年は平年より早く萌芽し、順調に生育しています。初期生育の促進を図るため、中耕を実施してください。

農薬使用は適正量を守り、生産履歴は忘れずに記帳しましょう！

農薬散布時のドリフトに注意！